

# 地域ケア会議 NEWS☆LETTER

発行：小諸市地域ケア推進会議事務局（小諸市高齢福祉課・小諸市地域包括支援センター）

## 第4回地域ケア推進会議を開催しました！！

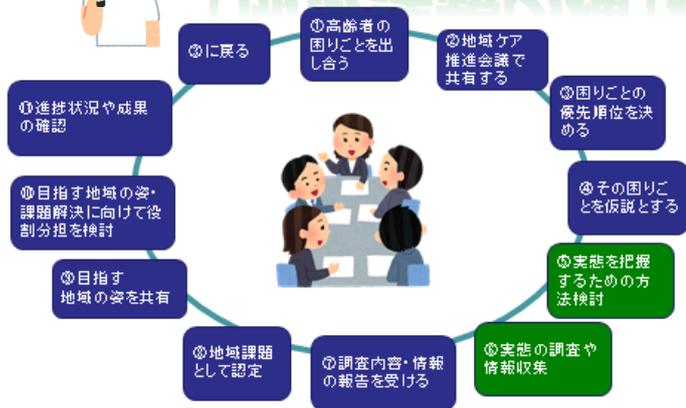
3月26日小諸市役所にて、平成30年度最後となる第4回目の地域ケア推進会議を開催しました。

今回は『認知症介護者家族への支援策について活動状況報告』、『地域の困りごとの共有と仮説検証について』を議題に取り上げました。

『認知症介護者家族への支援策について』では、各委員の所属団体での取り組み状況の報告・共有を行いました。また、『地域の困りごとの共有と仮説検証について』では、事務局に寄せられた多くの地域課題の種の中から、地域ケア推進会議で取り組んでいく項目について協議しました。



## 【地域課題の種】検証を始めます！！



上の図は、地域ケア推進会議の流れを示しています。今回開催した地域ケア推進会議では、②寄せられた高齢者に関する地域の困りごとを共有し③優先順位を決め④⑤その困りごとが本当に地域課題なのか、実態把握を中心に行う機関・団体を検討し、役割分担を行いました。

寄せられた地域課題の種を『緊急時の対応』『ゴミ屋敷』

『区未加入』『介入拒否』『認知症見守り』『他者交流』『居場所』など19のキーワードに分類。深刻性（命に直結するか）と広汎性（当てはまる人が多いか）の2軸にキーワードを落とし込んだマトリクス図を基に委員の皆さんが、どの地域課題の種から実態把握・検証を行っていくか、グループワークも取り入れて協議しました。活発な協議の結果、以下の2項目に取り組んでいくことを確認しました。

- I 身寄りのない住民の身元保証
- II あいのりくんを含めた移動手段・外出付添い

Iは高齢福祉課と地域包括支援センターが中心に、IIは生活支援コーディネーターが中心に実態把握・検証を進め、次回の地域ケア推進会議で報告し、課題解決に向けた取り組みに繋がります。



【おじゃましました！！】

## 東山区ふれあいサロン

### ～介護事業所スタッフが 講師を務める出前講座～



昨年度、地域ケア推進会議で協議した『認知症介護者家族支援』の取組の一つとして、『介護事業所の職員が出前講座の講師として専門職の知識を地域住民に伝える』取組が遂にスタートしました！！今回は東山区ふれあいサロンで開催した、記念すべき出前講座第1回目の様子をお伝えします。

今回の講師は、介護老人保健施設しののめの里支援相談員の高橋美保さんと副理事長の中村秀雄さん。

高橋さんからは、『介護老人保健施設と役割について』をテーマに、介護老人保健施設や他の高齢者施設の特徴や、施設では入所者のその人らしさを大切に専門職が支援していることなどの説明や、フレイル（年齢とともに筋力や認知機能・社会とのつながり等が低下していく状態）や

認知症について話題提供がありました。

「フレイルも認知症も、予防には人との関わりが大切。地域の集まりや、市で開



催する介護予防教室などに積極的に参加しましょう」との高橋さんの話に、参加者の皆さんは熱心に耳をかたむけていました。

東山区では、月に1回、午前に健康達人区らぶ、午後にふれあいサロンを開催。民生委員さんをはじめ、区の役員、保健推進員、ささえ愛サポーターの皆さんがスタッフとして携わっています。

当日は、60代から90代までの区民15名が参加。参加者の皆さんから意見や質問がどんどん上がり、『施設の費用ってどれくらい？』『困った時の相談先は？』『見守り反射ステッカーって何？』『もしもの時のために、自分の希望は家族に伝えておかなきゃ』

『生まれ育った地域には居たいけど、近所に迷惑はかけたくないなあ』等、お茶を飲みながら意見を交わす姿がイキイキしていてとても印象的でした。



### 出前講座を終えて・・・

地域の方は施設に馴染みがなく、敷居が高いと感じている方もいます。今回は『地域と施設の壁を壊したい！』との思いで出前講座をお願いしました。



地域の方に直接施設についてお話しでき、様々な意見交換もできて良い機会になりました。講師を担える事業所がもっと増えれば良いと思います。

左から 長岡民生委員・高橋支援相談員・中村副理事長

【編集後記】新年度が始まり、地域や職場で新入学生や新社会人のフレッシュな姿を見かけます。4月2日に取材した東山区のふれあいサロンでは、大正・昭和・平成の時代をしなやかに生きてこられた皆さんのイキイキとした姿を拝見しました。どちらも素敵で、『私もより一層精進せねば！！』と身が引き締まる思いがしました。

今年度もニュースレターを通じて、推進会議や地域での取組を広く発信していきます！取材依頼お待ちしております！！

